

自衛隊の仕事図鑑

The work pictorial book of the Self-Defense Forces

陸上自衛隊の主な職種一覧

 <p>普通科 体力・気力・技術がそろうオールマイティな地上戦闘の要(かなめ)戦闘員です。</p>	 <p>高射特科 侵攻する敵航空機の侵入を監視し、要撃・撃墜します。</p>	 <p>施設科 障害処理、陣地や施設の構築、橋の設置や器材整備といった職域があります。</p>	 <p>需品科 糧食・燃料・需品器材や被服の補給、整備及び回収、給水、入浴洗濯等を行います。</p>	 <p>警務科 地位は県警の警察官と同じ司法警察職員です。SP等、警護任務もを行います。</p>	 <p>音楽科 隊員の士気を高揚するための演奏や広報活動に関する演奏を行います。</p>
 <p>機甲科 戦車部隊と偵察部隊があり、主に戦車の正確な火力、優れた機動力及び装甲防護力により、敵を圧倒撃破します。</p>	 <p>情報科 情報に関する専門技術や知識をもつて、情報資料の収集・処理及び地図・航空写真の配布を行い、各部隊を支援します。</p>	 <p>通信科 各種通信電子器材での通信確保、電子線、サイバー、システム防護等ネットワーク構成、写真・映像処理等を行います。</p>	 <p>輸送科 大型車両をもって部隊、戦車、重火器、各種補給品を輸送するとともに、輸送の統制、ターミナル業務、道路交通規制等を行います。</p>	 <p>会計科 隊員の給与の支払いや、部隊の必要とする物資の調達等の会計業務を行います。</p>	 <p>衛生科 患者の治療や医療施設への護送、部隊の健康管理、防疫及び衛生器材の補給・整備等を行います。</p>
 <p>野戦特科 緻密な計算を行い、精度の高い射撃により地域を制圧する、火力戦闘部隊です。</p>	 <p>航空科 ヘリコプターパイロットの他、整備、管制、気象、通通信等、各種職域があります。</p>	 <p>武器科 火器、車両、整備、弾薬、不発弾処理、鍛造工作といった各種職域があります。</p>	 <p>化学科 各種化学器材をもって放射性物質等で汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品等の除染を行います。</p>	 <p>衛生科 患者の治療や医療施設への護送、部隊の健康管理、防疫及び衛生器材の補給・整備等を行います。</p>	 <p>衛生科 患者の治療や医療施設への護送、部隊の健康管理、防疫及び衛生器材の補給・整備等を行います。</p>

戦車や車、武器の整備や修理もするよ

救急救命士や准看護師の資格がとれるよ

自衛隊にも消防士がいるんだよ

海上自衛隊の主な職域一覧

 <p>射撃・水雷 護衛艦、潜水艦で魚雷等の水中武器、ソナー等の水中検査武器を操作し、潜水艦の捜索、攻撃及び器材の整備を行います。</p>	 <p>航海・船務 航海は、艦艇の艦橋において航海に関する業務を実施します。船務はレーダー・電波探知装置等を活用し、戦術活動を実施します。</p>	 <p>飛行 P-3C大型哨戒機、US-1A/2水上救難機、SH-60J/K艦載ヘリコプター等の搭乗員として飛行任務を実施します。</p>	 <p>経理・補給 給与・旅費等の計算、物品等の調達、部隊の任務を遂行するために必要な装備品等を準備し、供給する業務を実施します。</p>	 <p>衛生 病院における医療及び医務室における健康管理や身体検査を実施するとともに、潜水に関する調査・研究を業務とします。</p>	 <p>音楽 音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚します。また、広報活動に関する業務を行います。</p>
 <p>通信 陸上基地、艦艇及び航空機等の通信、暗号の作成及び翻訳、通信器材・暗号器材及び関連器材の操作整備を業務とします。</p>	 <p>地上救難 特殊な装備で任務にあたる海上自衛隊。その非常事態に対応するのが地上救難班の任務です。</p>	 <p>機関 エンジン(ガスタービン、ディーゼル等)発動機等の運転、整備及び火災、浸水対処等を業務とします。</p>	 <p>施設 国有財産についての管理、運用、施設器材・施設車両を用いての建設、道路等の工事及び器材の設備を行います。</p>	 <p>潜水 浅海域における簡単な水中作業や機雷・不発弾等の爆発物の捜索・処分、深海域における潜水艦等の乗員の救助に従事します。</p>	 <p>音楽 音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚します。また、広報活動に関する業務を行います。</p>
 <p>気象・海洋 気象・海洋観測、天気図類の作成、気象・海洋関係の情報の伝達に関する業務を行います。</p>	 <p>航空管制 飛行場で離着陸する航空機又は飛行場周辺を飛行する航空機の無線・レーダー等での誘導等を業務とします。</p>	 <p>航空機整備 航空機の機体、エンジン及び計器並びにこれらを維持するための器材等の整備、修理、補給等に関する業務を行います。</p>	 <p>給養 艦艇及び陸上部隊において、隊員に対する給食業務を実施します。</p>	 <p>掃海機雷 掃海艦艇等で機雷探知機、掃海具等を操作し、機雷の処分及び機雷の調整、器材の保守整備を行います。</p>	 <p>音楽 音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚します。また、広報活動に関する業務を行います。</p>

航空管制官は国土交通省航空局員と自衛官だけなんだよ

自衛隊のコックさん、カレーのプロ!

航空自衛隊の主な職域一覧

 <p>飛行 戦闘機、輸送機、偵察機、救難機および政府専用機などを操縦し、防空、航空偵察、航空輸送および航空救難などを行います。</p>	 <p>航空管制 航空自衛隊の飛行場(共用飛行場を含む)における航空交通管制業務を行います。</p>	 <p>通信 通信器材を操作し、電報等の送受信を行うほか、器材の整備管理等を行います。</p>	 <p>施設 基地内施設の維持管理(土木・建築・電気等)及び航空機事故や建物火災等非常時の消火、人命救助等を行います。</p>	 <p>警備 基地内巡察などを行い、基地の施設や物品等の警戒等を行うほか、基地内出入者の監視等を行います。</p>	 <p>警備 基地内巡察などを行い、基地の施設や物品等の警戒等を行うほか、基地内出入者の監視等を行います。</p>
 <p>警戒管制 日本の領空を常時監視し、接近又は侵入してくる航空機を早期に発見・識別し、必要に応じて戦闘機の誘導を行います。</p>	 <p>電算機処理 電子計算機及び関連器材の操作やプログラムの作成、電子計算機システムの管理を行います。</p>	 <p>武器弾薬 航空機に搭載される武器弾薬等の補給、管理、整備を行います。</p>	 <p>衛生 隊員の健康診断及び各種身体検査のほか、医療保険、環境衛生、食品衛生検査を行います。</p>	 <p>会計 予算の編成、執行計画の作成及び予算執行にわたる一連の業務を実施するとともに、これに関する会計業務処理を行います。</p>	 <p>法務 法令の調査研究、訴訟、損害賠償、法規審査といった各種の法務業務を実施しています。大学院研修へ行く場合もあります。</p>
 <p>高射 侵襲してくる航空機や巡航ミサイルを撃破するため、ペトリオットミサイルシステムの操作及び器材の整備を行います。</p>	 <p>気象 航空機の離着陸及び飛行安全確保のため、気象観測・予報を行い、各種気象情報を全国の部隊に通報したり、天気図の作成を行います。</p>	 <p>航空機整備 航空機のエンジンや搭載する電子機器類、レーダー等の整備及び航空機の定期整備を行います。</p>	 <p>補給 航空自衛隊で使用する物品の需要統制、在庫管理、取得納入、保管等を行います。</p>	 <p>輸送 航空自衛隊で装備・使用されている車両で、人や貨物を輸送したり、航空機へ貨物を搭載する業務を行います。</p>	 <p>音楽 航空自衛隊には5つの音楽隊があり、国の行事や自衛隊の公式行事の時に演奏を行います。</p>

気象予報士もいるんだよ

戦闘機の整備士にならない?

取得機会のある多彩な資格

- 車両関係** 大型自動車運転免許、大型特殊運転免許(自衛隊以外の大型自動車運転には限定解除が必要)けん引免許、自動車整備士(1~3級)
- 船舶関係** 小型船舶操縦士、潜水士
- 航空関係** 航空管制官、航空無線通信士
- 医療関係** 救急救命士、准看護師、臨床検査技師、診療放射線技師
- その他** 危険物取扱者(乙種第4類)ガス溶接(アーク溶接)技能者、2級ボイラー技工士、電気工事士、調理師免許等



CHECK!!

詳しい職種・職域内容は...
自衛官募集ホームページで動画を
<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>



自衛官の道しるべ

コース

特徴

対象年齢

自衛官候補生

2士

1士

士長

3曹

2曹

1曹

曹長

3尉

2尉～



Course 1

一般幹部候補生

幹部自衛官を養成するコース。陸・海・空曹長に任命され、各幹部候補生学校に入校し、約1年の課程を経て、3尉（院卒者試験合格者は2尉）に昇任します。

【基準】
22歳以上
26歳未満
【その他】
大卒20歳以上
院卒20～28歳未満

大卒：230,300円
院卒：251,300円

入隊

幹部候補生
学校入校
約1年

昇任



Course 2

航空学生

海上・航空自衛隊のパイロットを目指す幹部自衛官養成コース。入隊後約3～4年で国家資格（事業用操縦士）が取得できます。飛行幹部候補生課程修了後、3尉に任官します。

【海】
18歳以上
23歳未満
【空】
18歳以上
21歳未満

入隊

2年間の基礎教育修了後3曹へ

昇任

飛行幹部候補生（フライトコース）

昇任

6ヵ月 6ヵ月 1年 約1年
2士※1 (184,300円～) 1士※1 (191,800円～) 士長※1 (197,600円～) 3曹※2 (305,324円～)

約1年 1年 1年
2曹 1曹 曹長

※1 給与は学歴・職歴等により異なります。
※2 航空手当を含みます。（機種によって異なります）



Course 3

一般曹候補生

部隊の中核である曹を養成するコース。陸・海・空の各部隊で経験を積み、入隊後、2年9ヶ月以降、選考により曹へと昇任します。3曹昇任後4年（大学卒は1年）で幹部への受験資格が得られます。

18歳以上
33歳未満

入隊

2年9ヶ月後、選考により3曹へ

昇任

幹部選抜試験受験資格
3曹昇任後4年（大卒者は1年）で部内幹部候補生の受験資格が得られる

昇任

幹部候補生
学校入校
約1年

昇任

6ヵ月 6ヵ月 1年9ヵ月以上
2士※1 (184,300円～) 1士※1 (191,800円～) 士長※1 (197,600円～) 3曹※1 (206,300円～)

選考により

昇任

選抜試験

昇任



Course 4

自衛官候補生

陸は2年、海・空は3年の任期制隊員コース。入隊して自衛官候補生として経験を積み、その後2等陸・海・空士に任命されます。任期終了後は民間企業へ就職したり継続任用も可能です。選抜試験に合格すれば曹や幹部へ進むこともできます。

18歳以上
33歳未満

入隊

任用 任用 試験により3曹へ
継続任用・任期満了

昇任

幹部選抜試験受験資格
3曹昇任後4年（大卒者は1年）で部内幹部候補生の受験資格が得られる

昇任

幹部候補生
学校入校
約1年

昇任

3ヵ月 6ヵ月 1年
自衛官任用一時金 (221,000円)
自衛官候補生手当 (146,000円)
2士※1 (184,300円～)
特別退職手当金
任期を満了した際には、2年間の勤務で約59万円、3年間の勤務で約97万円、2任期目で約150万円支給されます。

選抜試験

昇任

選抜試験

昇任



Course 5

防衛大学校学生

幹部自衛官を養成する学校。卒業時「学士」の学位が授与されます。卒業と同時に曹長に任命され、陸・海・空の各幹部候補生学校（約1年）を卒業後、幹部自衛官（3尉）となります。

18歳以上
21歳未満

入校

4学年卒業後、曹長に任命

卒業

幹部候補生
学校入校
約1年

昇任

学生手当：120,200円



Course 6

防衛医科大学校医学科学生

医師である幹部自衛官を養成する学校。卒業と同時に曹長に任命され、幹部候補生学校（約6週間）で教育を受け、医師国家試験に合格した者に医師免許が与えられ、幹部自衛官（2尉）となります。（卒業後9年未満で離職する場合は償還金が必要）

18歳以上
21歳未満

入校

6学年卒業後、曹長に任命

卒業

幹部候補生
学校入校
約6週間

昇任

医師国家試験
合格者

学生手当：120,200円



Course 7

防衛医科大学校看護学科学生

保健師・看護師である幹部自衛官を養成する学校。卒業と同時に曹長に任命され、幹部候補生学校（約6週間）で教育を受け、幹部自衛官（3尉）となります。（卒業後6年未満で離職する場合は償還金が必要）

18歳以上
21歳未満

入校

4学年卒業後、曹長に任命

卒業

幹部候補生
学校入校
約6週間

昇任

保健師・看護師
国家試験合格者

学生手当：120,200円



Course 8

高等工科学校生徒

将来の技術的スペシャリストな陸上自衛官を養成する学校。提携する通信制高等学校の卒業資格を取得することもできます。卒業後、士長に任官。約1年後には3曹に昇任します。（防衛大学校学生・航空学生等の受験は可能）

15歳以上
17歳未満

入校

3学年卒業後、士長に任命

卒業

昇任

幹部選抜試験受験資格
3曹昇任後4年（大卒者は1年）で部内幹部候補生の受験資格が得られる

昇任

幹部候補生
学校入校
約1年

昇任

学生手当：106,900円

生徒陸曹候補生課程入校

選抜試験



Course 9

予備自衛官補 （一般・技能）

身分：非常勤の特別職国家公務員
手当：教育訓練招集手当：日額8,500円
訓練日数：【一般】3年以内に50日
【技能】2年以内に10日
指定された教育訓練を修了した者は、修了の翌日に陸上予備自衛官として任用されます。

【一般】
18歳以上
34歳未満

【技能】
18歳以上
55歳未満
（要国家資格等）

予備自衛官

陸上予備自衛官としての任用
任期：3年
任期修了後、引き続き希望する者は選考により3年を任期として継続任用されます。
予備自衛官手当：月額4,000円
訓練招集手当：日額8,100円

注：給与、手当は法改正により改定される場合があります。